



2014.12

No.544

一般社団法人  
群馬県労働者福祉協議会  
〒379-2166 前橋市野中町361の2  
〒379-2166 TEL027(263)3443  
URL <http://www.gunma-rofukukyo.or.jp>  
発行責任者 金子裕昭

## 第9次海外植林ボランティア 15名を派遣 マレーシア国ボルネオにて1500本を植林、自然環境保全に寄与!!

11月6日から10日にかけて、マレーシア国ボルネオ島サバ州マフア村にて、原生林を再生させるための第9次海外植林ボランティア15名を派遣しました。

この海外植林ボランティアは、自然環境保全の重要さや国際貢献を学ぶとともに、現地で私たちの活動をサポートしてくれる方々との交流を深める事、また、派遣メンバーが協力し合い連帯と協働の大切さを身に付けることを目的としています。



掘るのも一苦労

派遣団は、11月6日午後成田を発ち夜遅くマフア村に到着、簡単な意思統一を行い就寝、翌7日は、午前中セレモニーの後、作業地に移動、直ちに植林作業に取り掛かりました。

派遣メンバーは、外来種が生い茂る熱帯林の中で、現地の人とともに絶滅に瀕しているフタバガキ科の苗木を二日間で約1,500本植樹しました。

とりわけ、最大で斜度50度を超える急斜面で泥だらけになり、時にはスコールにさらされながら、トンバッタと呼ばれる縦鋤で穴を掘り丁寧に苗木を植えました。

また、夕刻には、日本より持参した食材でカレーライスとお汁粉を調理し、現地の方に食べていただき、交流を深めました。

8日は、午前中は引き続き植林作業を行い、午後は、現地の孤児院を訪問。会員のみなさんから寄せられた文房具やサッカーボールなどをプレゼントし、子供たちと縄跳びや折り紙、バルーンアート等で楽しく交流を行いました。短期間の植林作業と交流でしたが、所期の目的は十分に達成できました。

サバ州では、1970年代の商業伐採のために原生林はほとんど残っておらず、伐採後には成長の速い外来樹が植えられたことにより、その他の木々や動物の生活へ悪影響を及ぼしています。

ぐんま労福協では、2006年から本来の熱帯林を再生させるための植林活動に取り組んでいます。



参加者の皆さん



全員で歌を披露



子供たちと折り紙

## 第2回勤労者福祉セミナー

## 連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会を開催!!

107名が労働組合・事業団体の生い立ちと協同組合の原点を学びました。

11月30日（日）午前10時より前橋市ラシーネにて2014年度第2回勤労者福祉セミナーを開催しました。会員労働組合や事業団体、一般の方を含め107名の方が参加されました。



講師の高橋さん



開会挨拶：加藤副理事長

講師は、中央労福協前事務局長の高橋均氏にお願いし「労働運動と労働者福祉運動の過去・現在・未来」をテーマに講演いただきました。

高橋氏は、労働運動と労働者自主福祉運動の関係性について、江戸時代から明治時代にかけて庶民が自動的に作った組織や作法（頼母子講・無尽・火事見舞いや香典）の中に協同組合思想と実践がなされていたこと、

また、大正デモクラシーの中にも消費組合運動として、戦後においては、憲法よりも早く労働組合法が制定され、分立する労働組合と生協の連携により「福祉は一つ」を掲げ生活物資を共同調達するために作られた「中央労福協」が今日まで連綿として、協同組合運動の流れが引き継がれていることを述べられました。

さらに、生活協同組合と労働組合が労働金庫を誕生させ、労働組合と労福協が全労済を生み出したことなど、支えあい・助け合い（連帯・協同）を基本とした労働者自主福祉運動の原点を明らかにしました。



また、労働者自主福祉運動のさらなる展開のためには、労働組合と事業団体は「ともに運動する主体」であることを踏まえ「二宮尊徳、ガンジーケインズ、賀川豊彦」に共通する精神を大切にしていく事を強く訴え講演の結びとしました。



閉会挨拶：金子専務

## 被災地を元気に！！

## 福島県南相馬（原町・小高地区）を訪問しました。

12月13～14日に被災地支援の一環として、福島県南相馬の被災地（原町・小高地区）視察と会津史跡めぐりのツアーを実施しました。諸般の事情でキャンセル等が発生しましたが、事業団体や労働団体、地区労福協等から14名の方に参加いただきました。

13日早朝に群馬を発ち昼過ぎに福島県南相馬地区に到着。小雪が舞う天気の中、南相馬で「語り部」の神田薰さんにバスに乗車いただき、原町・小高地区の被災時の状況と復興の現状について説明いただきました。

震災時、津波は20mにも及び、少し高台から見ていた人は電柱の上を船が流される様子を見て「日本沈没か」と思うほどであったと話されました。車窓からは海拔ゼロメートルの田畠や宅地の瓦礫は撤去されているものの、津波で破壊された住宅はそのままであり、海岸では防潮堤の工事が進むものの地域全体の復興にはまだまだ多くの時間と労力が必要であることを実感させられました。



二日目は、大雪が降りしきる中でしたが郡山から会津へ移動し、会津若松城（鶴ヶ城）を見学、その後本ツアーの目的の一つである経済支援のため、参加者一同、両手に持ちきれないほどの土産を買い、無事群馬に戻ってきました。



神田薰さん

## 募集 長野県栄村“除雪ボランティア”！！

- 日程：2015年2月21日（土）～22日（日）1泊2日
- 場所：長野県下水内郡栄村
- 内容：村内住宅や周辺地区および道路の除雪、集雪、運搬

※除雪道具（スコップ等）をご用意ください。

- 参加費：一人 15,000円（宿泊、食事、交通費、ボランティア保険を含む）
- 募集：30名（応募者多数の場合は調整させていただきます）
- 締切：2015年1月30日（金）

お問い合わせ：ぐんま労福協事務局 Tel027-263-3443 / Fax027-289-4004

## 労福協東部ブロック協議会 第49回定期大会を高崎で開催!!

12月4日、ホテルメトロポリタン高崎において、労福協東部ブロック第49回定期大会が開催されました。関東甲信越静の1都10県から38名の役員、代議員が出席しました。



大森前事務局長



遠藤前会長

黒河副会長の開会挨拶の議長にぐんま労福協の斎藤常務を選出、開催権を代表して北川理事長が歓迎挨拶を行いました。次に、群馬県を代表して産業経済部須藤副部長、中央労福協山本副会長、中央労働金庫松迫副理事長、全労済東日本事業本部石山事業本部長等の来賓の方から激励の挨拶をいただきました。

議事では、第1号議案「2014年度活動報告」、第2号議案「会計報告」が大森事務局長より一括提案され、また、中澤会計監査より「2014年度会計監査報告」が行われ、いずれも全会一致で承認されました。引き続き、大森事務局長より「2015年度活動計画(案)」「2015年度予算案(案)」が提案され、全会一致で承認されました。

第5号議案「役員改選」では、長年労福協活動に貢献してきた遠藤会長と大森事務局長が勇退され、新たな体制が構築されました(別掲参照)。

なお、総会終了後、記念講演として本年世界遺産に登録された「富岡製糸場と絹遺産群」について、富岡製糸場世界遺産伝道師協会の近藤会長より、世界遺産登録の意義と登録までの様々な取り組みについて貴重なお話をいただきました。

また、12月5~6日にかけて役職員研修会として富士重工業(株)矢島工場の視察、富岡製糸場の見学等々、群馬県内の風土と文化を堪能してもらいました。



黒河新会長

### 【労福協東部ブロック協議会 2015年度役員】

役職	氏名	所属と役職
会長	黒河 悟	千葉県労福協 会長
副会長	吉岡 秀規	静岡県労福協 理事長
	斎藤 敏明	新潟県労福協 理事長
事務局長	小松 清	栃木県労福協 事務局長
事務局次長	山田 太郎	新潟県労福協 専務理事

### 太田地区労福協

## 秋の秩父路ツアー<sup>入</sup> を楽しみました!!

太田地区労福協は、10月12日(日)45名の参加で「S L乗車と長瀞ライン下り＆ランチバイキング(ぶどう狩り付!)」日帰りバスツアーを実施しました。

太田からバスで移動し熊谷駅からS Lに乗車をするコースです。太田・熊谷間は比較的近くですが、皆さんS Lに乗車する機会はなかなかなかったようです。



沿道からは、たくさんの人が手を振ってくれました。

ランチでおなかいっぱいになった次は、長瀞でライン下りを楽しみました。前週の台風の影響もあり、普段より水かさが増し、スピードもアップしていました。

水しぶきを楽しみながら秋の気配を感じることができました。



そして、秋の味覚のひとつ、「ぶどう狩り」でぶどうを頬張り、さらに予定を変更し「お菓子のアウトレット」に立ち寄るなど、欲張りなバスツアーは無事に終了しました。

### 2014年度第3回勤労者福祉セミナー

## 防災・減災に向けた日頃の心構え

自然災害の少ないと言われる群馬県ですが、その中で私たちが備えなければならないことについて学びます。



日 時 2015年2月28日(土)  
9時30分開場 10時開会～12時

講 師 群馬大学大学院理工学府教授  
**片田 敏孝 氏**

会 場 群馬県勤労福祉センター 3階会議室  
前橋市野中町361-2

募 集 群馬県内に在住、在勤の方100名  
応募者多数の場合は先着順とさせていただきます

参 加 費 無料

申込期限 2015年2月20日(金)までに  
Faxまたはメールでお申し込みください

主催 (一社)群馬県労働者福祉協議会

TEL.027-263-3443 FAX.027-289-4004  
post@gunma-rofukukyo.or.jp

### 【報告】群馬県事業団体連絡会チャリティゴルフ

決勝ラウンド優勝者(2014年11月6日)

桐生みやま園 高田成幸氏(NET69:新ペリア)

## ぐんま労福協会員からのお知らせです



# 群馬学校生協

~ Since 1948 ~

学校生協は、群馬県内の公立小中学校の教職員によって昭和23年に設立された歴史のある職域生協です。現在は公立小中学校教職員の90%と公立高校教職員の65%を組織し、組合員数は10月末で15358人（退職継続者2594人を含む）となっています。

職場毎に「学校生協係」を選出いただき、日常的にご協力いただいています。年2回地区ごとに各職場の生協係のご参加いただく「地区運営委員会」を開催し、経営概況の報告、事業紹介、キャンペーン等の商品検討会を通じて各職場での意見要望を事業活動に反映しています。また、昨年から「継続組合員の集い」を開催して、退職継続の方に事業内容のご案内や意見要望を伺う機会を設けています。



主な事業は自主供給として食品・雑貨・CD・書籍などを中心とした共同購入、「くらしと生協」などの通信供給、巡回代行に取り組んでいますが、特に中心となる企画である夏・冬の「生活応援5%割引セール」と年3回実施する「ひとり一品以上利用拡大キャンペーン」は全職員の総力を挙げて取り組み、その実績は共同購入事業の50%を超える売り上げとなっています。その他に提携指定店による指定店供給、生損保の収納代行、損害保険代理店及び共済代理業や退職者予定者向けの教職員共済退職者説明会、ライフプランセミナーの開催など幅広い事業を提供することを通じて組合員のくらしを応援しています。

社会貢献活動として、指定店も含めて学校訪問する車両に「学校安全パトロール」ステッカーを貼付、また年3回実施する「ひとり一品以上利用拡大キャンペーン」を「東日本大震災義援金企画」と位置づけ、供給高の2%を被災地にお届けするとともに、今年度も指定業者会と合同で被災地ボランティアバスツアーを行いました。このような活動を評価いただき昨年度は、「生協法施行65周年記念厚生労働大臣表彰」を受賞しました。

組合員参加イベントとして「生協まつり」「住まいづくりフェア」を県庁生協と合同開催。お互いの特色を活かし、組合員サービスの向上を図っています。



組合員参加セミナー



生協まつり



住まいづくりフェア



## 群馬県学校生活協同組合

〒371-0847 群馬県前橋市大友町1-13-12  
TEL 027-253-5318 FAX 027-252-9401

組合員専用フリーダイヤル TEL 0120-39-5318

組合員専用フリーダイヤル FAX 0120-03-5318

共済部フリーダイヤル TEL 0120-26-0753

共済部フリーダイヤル FAX 0120-56-9292